

「数値目標・重要業績評価指標(KPI)」の追加・修正の詳細(再検討版)

担当部課等名

政策イノベーション部科学技術振興課

総合戦略 該当ページ	P10
基本目標	I つくば市の特性をいかした産業競争力の強化でしごとをつくる
基本施策	1 筑波研究学園都市に集積する最先端の科学技術から新たな産業をつくる
個別施策	(2) 研究機関等の集積をいかしたイノベーションの創出
修正項目	⑧その他
修正前	(新規追加(差替・移し替え))
修正後	平成29年度から平成31年度までのつくばイノベーション・エコシステムの構築(医療・先進技術シーズを用いた超スマート社会の創生事業)の支援による技術シーズの商品化, 事業化, 産業化等の創出支援件数: 1件
修正理由	市長公約(No.61-1)に掲げられた事業であり, 市長公約ロードマップに基づく内容について, 個別施策「研究機関等の集積をいかしたイノベーションの創出」に追加を行った。そのため, 当該施策に付随するKPIについて移行を行うもの。

数値目標・重要業績評価指標(KPI)の修正・追加等の詳細について

様式2

基本目標	I つくば市の特性をいかした産業競争力の強化でしごとをつくる	
基本施策	1 筑波研究学園都市に集積する最先端の科学技術から新たな産業をつくる	
個別施策	(2) 研究機関等の集積をいかしたイノベーションの創出	
指標・KPI	平成29年度から平成31年度までのつくばイノベーション・エコシステムの構築(医療・先進技術シーズを用いた超スマート社会の創生事業)の支援による技術シーズの商品化, 事業化, 産業化等の創出支援件数: 1件	
担当課	政策イノベーション部科学技術振興課	
設定根拠	有望技術シーズの事業化推進プロジェクト計画件数を基に設定します。	
従前値	0	
単位	件	
基準年度	H28年度	
H27	-	
H28	0	
H29	0	
H30	0	
H31	1	
目標値	1	
単位	件	
目標年度	H31年度	
累計実績	H27	-
	H28	0
	H29	-
	H30	-
	H31	-
実績値	0	
単位	件	
実績値の計算方法	有望技術シーズの事業化推進プロジェクトの計画・実績から事業化等件数を算出。	

B6

担当部課等名

教育局総合教育研究所

総合戦略 該当ページ	P32
基本目標	Ⅱ 結婚し, 子どもを産み・育て, 健康に生活できる環境をつくる
基本施策	2 教育日本一を目指し教育内容を充実する
個別施策	(2) ICT教育の推進
修正項目	②個別施策の重要業績評価指標(KPI)の修正
修正前	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校でICTを活用して, 研究機関と関連した授業を実施した学校数 30校(平成26年度)→52校(平成31年度)
修正後	<ul style="list-style-type: none"> <u>プレゼンテーションコンテストの校内予選からの参加者数</u> 6,346人(平成27年度)→11,000人(平成31年度)
修正理由	<p>つくば市でのICT機器の利活用が進み, 全小中学校でICTを活用した, 研究機関と関連した授業を実施することができ, 平成28年度末の時点で平成31年度の目標数を達成したことから, 新たに, 社会力を育む取り組みとして, <u>チーム弁論大会・プレゼンテーションコンテストの校内予選からの参加者数</u>を指標とする。</p>

数値目標・重要業績評価指標(KPI)の修正・追加等の詳細について

様式2

基本目標	Ⅱ 結婚し、子どもを産み・育て、健康に生活できる環境をつくる	
基本施策	2 教育日本一を目指し教育内容を充実する	
個別施策	(2) ICT教育の推進	
指標・KPI	プレゼンテーションコンテストの 校内予選からの 参加者数	
担当課	教育局総合教育研究所	
設定根拠	平成27年度参加者数の6,346人に対し、5割程度の増加を目指します。	
従前値	6,346	
単位	人	
基準年度	H27年度	
H27	6,346	
H28	9,028	
H29	9,600	
H30	10,300	
H31	11,000	
目標値	11,000	
単位	人	
目標年度	H31年度	
累計実績	H27	6,346
	H28	9,028
	H29	-
	H30	-
	H31	-
	実績値	11,000
単位	人	
実績値の計算方法	市内各中学校へのアンケート調査により、参加人数を算出。	

担当部課等名

市長公室広報広聴課シティプロモーション室

総合戦略 該当ページ	P49
基本目標	Ⅲ 交流・居住環境の魅力を高め、つくばにひとを呼び・ひとを留める
基本施策	2 つくば市を知り・好きになり・選んでもらう
個別施策	(3) シティプロモーションの推進
修正項目	②個別施策の重要業績評価指標(KPI)の修正
修正前	<ul style="list-style-type: none"> 市がプレスリリースした情報に対する新聞の掲載率 56%(平成26年度)→60%(平成31年度)
修正後	<ul style="list-style-type: none"> 市がプレスリリースした情報に対する新聞の掲載率 56%(平成26年度)→60%(平成31年度) つくば市公式Facebookつくばファンクラブ いいね数 7,392(平成28年度)→9,838(平成31年度) つくば市公式インスタグラムつくばファンクラブ フォロワー数(平成29年4月より運用開始) 0(平成28年度)→3,000(平成31年度) 市への愛着度 29.2%(平成27年度)→32.1%(平成31年度)
修正理由	<p>(修正前指標について)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新聞の掲載率は、話題性の提供や職員の記事作成のスキルアップ以外の事件事故等の要因等に大きく左右されるため、シティプロモーション事業全体の目標値とすることは難しいと思われるため別の指標に修正する。 <p>(修正後の指標について)</p> <ul style="list-style-type: none"> シティプロモーション事業において、市の魅力を市内外へ情報発信しているが、Facebookやインスタグラムは、情報発信の内容に対してのアウトカムとして、「いいね」や「フォロー」がされるため、SNS情報交流人口数を指標とする。 また、シティプロモーション事業において、市民との協働事業を行い、シビックプライドの醸成を図っていることから、市への愛着度を指標とする。

数値目標・重要業績評価指標(KPI)の修正・追加等の詳細について

様式2

基本目標	Ⅲ 交流・居住環境の魅力を高め、つくばにひとを呼び・ひとを留める	
基本施策	2 つくば市を知り・好きになり・選んでもらう	
個別施策	(3) シティプロモーションの推進	
指標・KPI	SNS情報交流人口数(つくば市公式Facebookつくばファンクラブのいいね数)	
担当課	市長公室広報広聴課シティプロモーション室	
設定根拠	シティプロモーション事業において、市内外へSNS等の活用によって、市の様々な魅力を情報発信し、市のイメージアップを図っていることから、SNS情報交流人口の増加を目標とします。平成31年度まで <u>前年比1割増を指します。</u>	
従前値	7,392	
単位	いいね数	
基準年度	H28年度	
H27	-	
H28	7,392	
H29	7,638 <u>8,131</u>	
H30	7,884 <u>8,944</u>	
H31	8,131 <u>9,838</u>	
目標値	8,131 <u>9,838</u>	
単位	いいね数	
目標年度	H31年度	
累計実績	H27	5,133
	H28	7,392
	H29	-
	H30	-
	H31	-
	実績値	7,392
単位	いいね数	
実績値の計算方法	つくば市公式Facebookつくばファンクラブのいいね数。(毎年度の数値計測は、当該年度の翌年度の4月1日時点)	

B13

担当部課等名

建設部防犯交通安全課

総合戦略 該当ページ	P56
基本目標	IV 公共交通網で結ばれた安全で安心な地域をつくる
基本施策	2 防災力・防犯力を強化する
個別施策	(2) 犯罪に強いまちづくりの推進
修正項目	②個別施策の重要業績評価指標(KPI)の修正
修正前	・防犯活動に参加している市民の割合 14.4%(平成25年度)→23.4%(平成31年度)
修正後	(修正の取消し) ・防犯活動に参加している市民の割合 14.4%(平成25年度)→ <u>16.5%</u> (平成31年度)
修正理由	市民意識調査の「防犯活動に参加している市民の割合」が平成25年度14.4%、平成27年度が14.5%と2年間で0.1%の増のため、 <u>下方修正し16.5%とする。</u>